

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します!



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1 (県庁6階)
電話 058-272-8199

第21号

令和元年6月発行

28 鷺山まちづくり協議会 (岐阜市)

事務所：鷺山公民館 (岐阜市鷺山北町9-12)

代表：川嶋 武雄

活動地域：鷺山自治会連合会地域

地域の概要

鷺山地域は、岐阜市北部の中心に位置し、斎藤道三とその娘にして織田信長の正室濃姫の居住地として知られる「歴史」とともに、鷺山の緑や鳥羽川・伊自良川の「自然」に恵まれた町である。

鷺山、正木、清洲、古川、緑ヶ丘の5つの地区、56の自治会から編成されており、大型商業施設や拠点医療機関、町医者などがバランスよく点在し、外食施設も多い等、住環境の整った住みやすい町である一方、高齢化も進んでいる。

【地域のデータ】4,490世帯 人口 10,237人 地区の高齢化率 30.69%(岐阜市平均 28.42%) ※平成31年4月1日現在

会の概要

鷺山まちづくり協議会は、鷺山を住みよい街にすることを目的とし、平成17年8月30日に設立された。

自治会長やその経験者に留まらず、これからの自治会活動を担っていく若者世代、元気な高齢者、消防団、水防団、体育振興会、子ども会、PTA等各種団体の長及びその経験者や地元有志が会員として活動している。

会員の年齢層は、30代から80代までと大変幅が広い。

組織は主に「イベント部会」、「見守り部会」、「まちづくり支援部会」の3部会で構成されている。

主な活動

鷺山夏祭り

毎年8月第2日曜日に開催する「鷺山夏祭り大会」の企画・準備・運営を行っている。

今年で14回目。第1回目の開催当時は、4～5,000人程度の規模であったが、今では毎年20,000人以上が参加する、岐阜市内でも有数の大規模な夏祭りとなった。

祭り当日は、夕方から鷺山本通りが歩行者天国となり、盆踊り大会や50以上の出店とともに、最近は防災意識を高めるため、地元店舗の駐車場を借りて防災体験コーナーを設け、地震体験車やミニ白バイ、パトカーの展示、体験等も行っている。

出店の運営も住民たちが自らの手で行い、人と人とのつながりを大切にし、子供からお年寄りまでの多世代交流ができることを目指している。

岐阜大学の学生による「よさこい踊り」を招致する等、毎年工夫を凝らした出し物を展開しており、鷺山地域の人々だけでなく、周辺の地区の方々も楽しみにされる、夏の一大行事となっている。



歩行者天国の様子



盆踊り大会の様子



夏祭りポスター

防犯パトロール

不審者等による問題が発生しないよう、防犯パトロールを毎月1回実施している。

実施主体は、自治会、PTA等だが、まちづくり協議会も共同で活動している。

各地区防犯パトロールメンバーのみなさん



鷺山地区



正木地区



清洲地区



古川地区



緑ヶ丘地区

まちづくり支援

ホームページで鷺山校区コミュニティーサイト「さぎ山の広場」を運営し、校区内の子育て支援、防災、健康増進等、様々なまちづくり活動の報告や、各種団体の紹介、回覧板の掲載、イベントカレンダー等、鷺山地域の情報発信を行っている。

回覧板による情報はその場限りだが、電子媒体であれば、いつでも見ることができ、若い世代に活用されている。

その他に、広報誌「ふれあい鷺山」を、自治会連合会と共同で発行。いきいきサロンの開催状況等の福祉関連や公民館情報等、地域の情報を掲載している。

もともとは広報部会として発足。その後、「まちづくりの支援」という意味を含めて名前を変更したことにより、例えば地区の文化祭、体育祭の出し物等のアドバイスをを行う等、活動の幅が広がった。

★ホームページアドレス

「さぎ山の広場」: <http://sagiyama.jp/>



HP「さぎ山の広場」



広報誌「ふれあい鷺山」

鷺山の環境整備

2020年1月放送開始のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」に先駆け、斎藤道三ゆかりの「鷺山」の環境整備を行い、県内外から訪れる人たちが、鷺山から市内や金華山を眺めた時、「これが、道三が戦国の世に眺めた景色か」と、一目でわかるような眺望を目指す。

地域の拠点づくり

老朽化している公民館の建て替えについて、子育てと高齢者対策を兼ねた地域の拠点となる公民館をめざし、自治会等関係団体とともに行政に働きかけていく。

今後の展望

- ・情報発信の一つの手段として、電子媒体の活用を積極的に進め、将来的には回覧板に代わる広報手段となることを目指す。
- ・協議会の力だけでは実現が困難な課題であっても、市や自治会連合会、その他の関係団体等を巻き込みながら取り組む等、課題解決に向け、「行政との橋渡し」として関わっていく。

取材を終えて

30代から80代まで、様々な世代の会員の方々が、それぞれ自分の経験や特技を生かし、自分のできることを、できる時間を楽しみながら活動に参加されているという印象を受けました。お話の中では、「自分たちの住むまちをよくして行きたい」という会の皆さんの熱い思いが強く伝わってきました。川嶋代表様をはじめ、関係者の皆様にはお忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ ～出前講座等のご案内～

○地域の課題解決応援事業

自治会・まちづくり協議会など地域住民主体の団体を対象に、地域が抱える課題（防災、子育て支援、防犯、認知症など）の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターを派遣するなど、要望に応じて課題解決の応援をします。

詳しくはホームページ検索サイトで

地域の課題解決応援事業

検索

○高齢者の安全・安心のための出前講座

皆さんの地域へ担当職員等がお伺いし、交通安全・防犯・消費者被害の防止といった身近な問題をテーマに、講話・寸劇などで、わかりやすくお伝えします。

詳しくはホームページ検索サイトで

高齢者向け出前講座

検索

○安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣

防犯に関するまちづくりの取り組みを応援するため、防犯ボランティア団体、自治会、PTA、老人クラブ、婦人会、学校等にアドバイザーを派遣しています。

詳しくはホームページ検索サイトで

安全・安心まちづくりアドバイザー

検索

○消費生活出前講座

皆さんの地域や学校へお伺いし、二重電話詐欺、悪質商法等の被害にあわないためのポイントを講話・寸劇でわかりやすくお伝えします。

詳しくはホームページ検索サイトで

消費生活出前講座

検索